

ESA でエンドユーザ セーフリスト/ブロックリストを変更する方法

目次

[はじめに](#)

[ESA でエンドユーザ セーフリスト/ブロックリストを変更する方法](#)

[Safelists および Blocklist エントリのための構文](#)

[関連情報](#)

概要

管理者が Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) のエンドユーザ Safelist/Blocklist (SLBL) をどのように修正できるかこの資料に記述されています。

ESA でエンドユーザ セーフリスト/ブロックリストを変更する方法

ESA 管理者は直接 IronPort スпам検疫 (ISQ) インターフェイスからの SLBL を見る場合があります。 管理者は各エンドユーザが見、使用する同じエントリのスーパーセットを見、使用します。

SLBL および管理者に修正することは会うか、または次のいずれかの操作を行う必要があります:

1. 管理者アカウントおよびパスワードを使用して EUQ にログイン して下さい
 - 上部権限のオプション ドロップダウン メニューから **Safelist** か **Blocklist** を選択して下さい
 - 送信側/送信側をリストします必要に応じて受信者のアドレスのために、見つけ、修正して下さい
2. .csv ファイルに SLBL をエクスポートして下さい
 - システム 管理 > コンフィギュレーション ファイルはおよび 『Backup』 を選択 しましたり/今バックアップ
 - ファイルはアプライアンスで保存され、FTP、かアプライアンスから他のファイルの取得方式によってエクスポートされて必要とします。
 - ファイルは設定ディレクトリに保存され、保存されるファイル名によってように示されます。 すなわち、
 - SLBL .csv ファイルを検知して、類似したを見るはずです:

```
# File exported by the SL/BL at 20070922T012001
c=us;a=p=test;o=exchange;s=smith;g=joe;, BLOCKED, black2@x.com
c=us;a=p=test;o=exchange;s=smith;g=joe;, SAFE, white4@x.com, white5@x.com, white6@x.com,
white3@x.com, white7@x.com
joe@exchange.test.com, BLOCKED, black2@x.com
joe@exchange.test.com, SAFE, white4@x.com, white5@x.com, white6@x.com, white3@x.com,
white7@x.com
joe@testcom, BLOCKED, black2@x.com
joe@testcom, SAFE, white4@x.com, white5@x.com, white6@x.com, white3@x.com, white7@x.com
joe@test.com, BLOCKED, black2@x.com
joe@test.com, SAFE, white3@x.com, white4@x.com, white5@x.com, white6@x.com, white7@x.com
```

- ファイルが修正されれば、同じ方式 システム 管理 > コンフィギュレーション ファイル

および復元によって ESA に戻ってロードすることができます。

Safelists および Blocklist エントリのための構文

送信側は次の形式を使用して safelists および blocklists に追加することができます:

- user@domain.com
- server.domain.com
- domain.com
- [10.1.1.0]
- [ipv6:2001:DB8:1::1]
- user@[1.2.3.4]

注: Safelists および Blocklists に関する完全情報に関しては、アプライアンスが現在実行している参照して下さい、または Help ページ ISQ を直接アクセスしなさい E メール セキュリティことを用の AsyncOS のバージョンのための [ユーザガイド](#): ESA>:83/help/admin_help の https:// <IP かホスト名

関連情報

- [エンドユーザガイド-Eメールセキュリティアプライアンス](#)
- [ESA セーフリスト/ブロックリストのバックアップ手順](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)